

広野町子ども園園児への絵本の寄贈



↑ 遠藤町長と一緒に記念写真を撮る子どもたち

福島県共同募金会広野共同募金委員会は7月29日(金)、広野子ども園で広野子ども園児への読み聞かせ、音読に活用するため絵本16冊を寄贈しました。

委員長である遠藤町長は、4、5歳児13名に対し「たくさん読んで、いっぱい遊んでください」とあいさつをし、園児代表2名に絵本を手渡しました。

この絵本は、令和4年度歳末たすけあい募金で広野町に配分された19万5千円を原資にしております。

「広野町移住・定住応援隊」の任命式



↑ 広野町移住・定住応援隊に任命されたみなさん

「広野町移住・定住応援隊」の任命式が7月28日(木)、役場全員協議会室で開催されました。様々な分野でご活躍し、発信力のある10名の方々に遠藤町長より、任命書を手渡しました。

「広野町移住・定住応援隊」は、東日本大震災・原子力発電所事故以降ご支援をいただいているNPOなど地域団体、ひろばクラブ会員の皆様、ふるさと福島広野会の皆様、大学などの高等学術機関、広野町と関係する皆様と移住・定住施策の推進を念頭とした1,000人規模のネットワークのリーダー的な役割を担い、今後100人を目標に任命する予定です。

双葉地方町村会・町村議会合同の要望活動



↑ 内堀知事に要望書を手渡す遠藤会長

双葉地方町村会と同町村議会は8月5日(金)、内堀雅雄知事に対し、東京電力福島第一原発事故に伴う帰還困難区域の取り扱い、東京電力福島第一原子力発電所で発生する処理水への対応、県立大野病院の早期再開など双葉地方の復興・再生に向けた22項目について要望しました。

町村会長の遠藤智広野町長らが県庁を訪れ、内堀知事に要望書を手渡しました。

広野町ゼロカーボンビジョン説明会



↑ 広野町ゼロカーボンビジョン説明会に参加したみなさん

広野町ゼロカーボンビジョン説明会が8月6日(土)、公民館大会議室で開催されました。

この説明会は、令和4年3月に策定した「広野町ゼロカーボンビジョン」の内容を、町民の皆様や企業の皆様に広くご理解いただくために行われました。

説明会には、ふたば未来学園の生徒など約80名の参加があり、広野町ゼロカーボンアドバイザーの永井祐二様より、ご家庭におけるゼロカーボンの取組みについて説明がありました。

浅見川ゆめ会議 東京大学、福島高専との交流



↑ 交流会の様子

特定非営利活動法人浅見川ゆめ会議による東京大学と福島高専生との交流会が8月22日(月)、長畑集会所で行われました。当日は学生13名に対し、自然豊かなこの地域の食材の安全性を社会に広くPRするため、浅見川でとれたアユやヤマメ、広野町産の特別栽培米やすいとんを振る舞いました。浅見川ゆめ会議は、浅見川の魅力を再認識し、自然環境や歴史・文化等の地域資源を次の世代に継承するため、環境の保全や活用に資する各種活動を行っています。

ゼロカーボンアドバイザーを任命



↑ 広野町ゼロカーボンアドバイザーに任命された永井教授

広野町では、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、令和4年3月に「広野町ゼロカーボンビジョン」を策定しました。

7月31日(日)、広野町ゼロカーボンビジョンの実現に向け、本町の政策の推進について専門的な見地から指導及び助言を受け、並びに意見を徴取することを目的に「広野町ゼロカーボンアドバイザー」として早稲田大学環境総合研究センター研究院教授永井 祐二様を任命しました。

第10回ふくしま学(楽)会を開催



↑ 第10回ふくしま学(楽)会で発言をする遠藤町長

早稲田大学ふくしま未来創造センター主催の「第10回ふくしま学(楽)会」が7月31日(日)、富岡町文化交流センター 学びの森で開催されました。町では、平成29年5月に早稲田大学ふくしま未来創造リサーチセンターを開所し、福島が抱える問題について考えるふくしま学(楽)会を定期的に行っています。地域住民、学生、NPO、行政、専門家など約110人が第一原発の廃炉が完了した後の地域像や浜通りの将来像などについて意見を交わしました。

令和4年度ふるさと創生大学が開校



↑ 第1回ふるさと創生大学の様子

令和4年度ふるさと創生大学が7月30日(土)、広野町公民館大会議室で開催されました。開校式では、遠藤町長が、ふるさと創生大学が広野町の新たな活力を創出するための原動力となることを期待します」とあいさつし、参加者26名に入学許可証を手渡しました。

開校式終了後には、東京大学アイソトープ総合センター特任研究員の裏出良博様を講師にお招きし、「聞いて得する眠りの話」～毎日健康で生き生き暮らすために～と題して講義をいただきました。